【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年3月5日(2020.3.5)

【公開番号】特開2017-136370(P2017-136370A)
【公開日】平成29年8月10日(2017.8.10)
【年通号数】公開・登録公報2017-030
【出願番号】特願2017-16587(P2017-16587)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｃ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｃ　1/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｃ　1/02
Ａ６１Ｃ　1/12

【手続補正書】
【提出日】令和2年1月22日(2020.1.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
歯科ツール（１）であって、
歯科ハンドピース（３）に結合するために形成されたシャンク領域（２）と、
前記シャンク領域に接続されるワーク領域（４）と
を具備し、
前記歯科ツール（１）の前記シャンク領域（２）は、ラッチ可能な挿入、および、駆動なしで取り外しが可能なように形成されており、
前記歯科ツールの少なくとも前記シャンク領域（２）がプラスチック材料、シリコンまたはゴムで製造されており、
前記シャンク領域（２）は、実質的に円筒状または円柱状に形成されており、当該シャンク領域の長手方向軸（Ｌ）に関して、前記歯科ハンドピース（３）のドライブ・コンポーネントと、軸方向ラッチングまたは放射方向ラッチングするため形成されており、
１または複数のスプリング・アームが前記シャンク領域に配設されている、又は前記シャンク領域（２）が環状ラッチング用凹部（８）を有しており、
前記シャンク領域（２）は、前記ワーク領域（４）の近傍に配設されているキャリア領域（９）を有し、当該キャリア領域は、前記歯科ハンドピース（３）のドライブ・コンポーネントにフォーム・ロッキング・結合のために形成されている、
ことを特徴とする、歯科ツール。
【請求項２】
前記ワーク領域（４）がプラスチック材料、シリコンまたはゴムで製造されており、
前記ワーク領域（４）と前記シャンク領域（２）は、硬度の異なる、プラスチック材料、シリコンまたはゴムで製造されている、
ことを特徴とする、請求項１に記載の歯科ツール。
【請求項３】
前記ワーク領域（４）および前記シャンク領域（２）は一体に接続されている、
ことを特徴とする、請求項２に記載の歯科ツール。
【請求項４】

前記シャンク領域（２）は、前記ワーク領域（４）とは反対側の端部において、少なくとも１つのスロット（６）を有し、そのスロットを間に介在させて長手方向軸に並行して走る２以上の前記スプリング・アーム（５）が形成されている、
ことを特徴とする、請求項１～３のいずれかに記載の歯科ツール。
【請求項５】
前記スプリング・アーム（５）またはアームは、前記ワーク領域とは反対側の端部において、外側に突出するラッチング用突起（７）またはラッチング用に厚くなっている突起を有する、ことを特徴とする、請求項４に記載の歯科ツール。
【請求項６】
前記キャリア領域（９）が、角がある、または、多角形の、外周面を有する、
ことを特徴とする、請求項１～５のいずれかに記載の歯科ツール。
【請求項７】
前記キャリア領域（９）が複数歯接続のために設けられている
ことを特徴とする、請求項１～５のいずれかに記載の歯科ツール。
【請求項８】
前記ワーク領域（４）は、ポリッシャ、ブラシ、研磨器、または、やすりとして形成されている、
ことを特徴とする、請求項１～７のいずれかに記載の歯科ツール。
【請求項９】
前記ワーク領域（４）は、カップ状、円錐状または筒状に形成されている、
ことを特徴とする、請求項８に記載の歯科ツール。
【請求項１０】
歯科ハンドピース（３）、および、請求項１～９のいずれかに記載の歯科ツール（１）を有する歯科装置であって、
前記歯科ハンドピース（３）は、そこに配設されているドライブを有する延びたグリップ・スリーブ（１０）、および、歯科ツールを取り外し可能に受け入れる前記グリップ・スリーブ（１０）の前面端部に配設されたヘッド領域（１１）を有する、
ことを特徴とする、歯科装置。
【請求項１１】
前記ドライブは、前記歯科ツール（１）に、回転運動、および／または、振動、および／または、軸上昇運動を伝達するように、構成されている、
ことを特徴とする、請求項１０に記載の歯科装置。
【請求項１２】
前記グリップ・スリーブ（１０）、または前記グリップ・スリーブ（１０）および前記ヘッド領域（１１）は、プラスチックケースを有する、
ことを特徴とする、請求項１０または１１に記載の歯科装置。
【請求項１３】
前記ヘッド領域（１１）および前記グリップ・スリーブ（１０）は、プラスチック材料で製造されている、
ことを特徴とする、請求項１２に記載の歯科装置。
【請求項１４】
前記プラスチック材料は、ＰＥＥＫ，ＰＰＳＵ，または、ＰＥＩである、
ことを特徴とする、請求項１２または１３に記載の歯科装置。